

Growing Vol.32

 April
2015

毎月10日発行

【今福教室】城東区今福西2-9-20 TEL.06-6934-4662
 【諸口教室】鶴見区諸口4-14-9-1F TEL.06-6912-3984
 【今津教室】鶴見区今津南1-6-2-1F TEL.06-6167-9722

【今福第2教室】城東区今福西2-16-8 TEL.06-6931-2000
 【関目教室】城東区関目4-16-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
 【古市教室】城東区古市3-21-8 TEL.06-6931-0467

今福第2教室の斜め前の法願寺のお庭に植えられている桜が、私を知る限りこの地域で最も早く咲く桜です。その木にたくさんのつぼみができています。

今私がこの記事を書いている3月15日は、公立後期入試の1日前。受験生のみんなは、どんなふう今日という1日を過ごしているのだろうなどと思いながら書いています。

春先の入試説明から始まり、フリーラーニングや、二度とやりたくないきつかった夏期講習、鬼の形相でみんなを追い込んだ秋の実力テスト対策、そして私立入試に公立前期入試。

前期日程試験の発表日の授業には涙で目を腫らせて来ている生徒の姿もありました。

合格発表の時、周りが合格して自分がダメだった時の辛さは、よくわかります。頑張ったからこそ、辛い。生徒達はそういった現実と向き合い気持ちの整理をつけ、また、後期までの勉強に励んできました。

このGrowingが皆さんの手元に渡る時には、公立後期入試結果が発表されることとなります。その結果の中に、生徒達一人一人が大人になっていく、そんなドラマが隠されています。

受験生の皆さん、そしてそれを支えた家族の皆様、本当にお疲れ様でした。

さて、来る4月18日(土)に、教育講演会を行います。第1回目がスポーツジャーナリストの小松成美氏、第2回目が弁護士の菊地幸夫氏……そうそうたる方々をお呼びして行ってきた教育講演会ですが、第3回目の講演は、実は私、塾長の高木がお話しさせていただこうと考えています(……どうかがかっかりなさらないでください)。

皆様ご存知のように、今年度の受験生より入試制度が変わります。評価制度が相対評価から絶対評価に変わり、中1の成績から内申点に加算されるようになります。また、公立前期入試がなくなり、受験科目が5教科に統一されます。

なぜでしょう？

これらの変更全ては、2020年の大学入試の大改革に合わせて行われていることです。国際化に立ち遅れている日本はその遅れを取り戻すために大規模な教育の改革を行おうとしています。道徳の教科化、国際バカロレア……。センター試験のスタートから今回の大学入試制度改革までが30年、ゆとり教育が脱ゆとりに変換するまでが28年かかったように、今回の教育改革の方針も少なくとも今後約30年は変わらないと考えられます。

子供達は、人口が急速に減り、経済が縮小し格差が広がる日本の中で生抜かなければなりません。すでに、国内に見切りをつけた企業は、英語を社内公用語と



法願寺の桜。新しいシーズンのはじまり。

し、雇用を海外に求めています。就職ですら世界の若者と競争しなければならぬ……これから子供達が生きる社会は、私達が生きてきた社会とは全く別の物に変化し始めています。

今回の教育講演会では「入試制度変更で、生徒評価はこう変わる。～高校・大学入試につながる、これからの傾向と対策とは」と題し、なぜ国がこのような入試改革を行うのか、その中で求められている人物像や必要な力とは何なのか、また、そのような力を育てるためにしていただきたい取り組みについて、そして最後に私達カイチがそれに対して今後どのようにしていきたいと考えているのかを真剣にお話ししたいと考えております。

今、子供達の将来のために、子供達・保護者の方々に是非知っていただきたい内容をお話しいたします。お忙しい折とは存じますが、是非ご参加くださいますようお願いいたします。(塾長 高木)

～今月の話題～

4月18日(土)

第3回教育講演会を実施します。



教室レポート

古市教室で日々成長していく子供達



こんにちは。古市教室の高木奈穂子です。今月は古市教室の様子をご紹介します。

上級部に多数在籍していた中学

生・小学6年生が卒業し、教室が寂しくなったと感じる一方、元気な入門生が多数入会しました。新入生の子供達は新しく習う事一つ一つに目を輝かせ、楽しそうに練習しています。毎回のように宿題を提出する子、誰にも負けないくらいの大きな声で元気一杯に挨拶できる子、おとなしくて控えめながら、コツコツと努力できる子、それぞれに个性的で、こちらも自然と指導に熱が入ります。

中級部はとても元気いっぱいです。一昨年に暗算検定が実施されるようになってからは、暗算技術が向上しただけでは

なく、異学年の子供達が在籍しているこのクラスでは切磋琢磨が見られます。誰かが暗算プレテストを受けると言えば、「僕もやる！」と楽しそうに練習しながらも、いい意味での競争心が育まれていると感じます。

上級部では、毎年12月に行われる塾内競技大会に向けての読み上げ算や読み

上げ暗算に力を入れています。3級・2級クラスは1億円の読み上げ算、2桁・3桁の読み上げ暗算の練習を行い、1級・段位クラスでは1京円から百万円の桁違いの読み上げ算、3桁から6桁の読み上げ暗算の練習に力が入ります。1級へ進級したばかりの

生徒にとって、そのレベルについていくのは大変なことです。毎回のように練習していると自然に能力が向上しているのに驚かされます。このように、日々成長していく子供達を見守りながら、私達職員も子供達に負けないように指導していきたいと思っています。(高木<奈>)



カイチの教育

2014年度入試を振り返って



まずは1年間、高校受験お疲れ様でした。2014年度は本当にあっという間でした。新学年として迎えた昨年3月がつい昨日のことに思えます。

思えば昨年度は激動の1年でした。

昨年春から「弱点を潰す！」ということに重きを置き本格導入された中3フリーラーニング講座。その後、立て続けにやってきた中間、期末対策。息つく暇もなくやってきた夏期講習。熟考に熟考を重ねた夏期講習のカリキュラムは相当なボリュームで、部活動で引退間際の追い込みをかけられた練習をこなしながらカリキュラムを消化する……生徒達は本当にギリギリの状態に取り組んでいたものと思います。それでもリタイアするものもなく最後まで夏期講習を乗り切った中

3生達は、学力はもとより、精神的にも強くなったように思います。夏期講習の終わりに進研模試を受験する生徒達が頼もしくも見えました。2学期もフリーラーニングと定期対策。トップ校を目指す生徒達には文理学科講座も始まりました。冬には私立対策、年が明けると前期対策。小論文に、英作文に追われ、そして公立入試へ……。

ただ漠然とこなすだけでは、ついてはこれなかったはず。昨年度の中3生達はいかにして乗り切ったか。ここで大切なのは「計画性」です。上記のようにボリュームたっぷりのカリキュラムにオプション講座、当然与えられる課題、やるべき勉強……これらをすべて消化するためには「いつにどれだけの時間で何をするか」をしっかり計画して明確に管理することが必要です。中3生にとって「やり切れませんでした」「やるのを忘れていました」「やる暇がありませんでした」

は通用しません。時間がなければ、作る努力をしましょう。

また、「時間を作る努力」と共に、「集中して学習する」ことも必要です。皆さんは塾の宿題、学校のテスト勉強などを本当に集中してできているのでしょうか。ほとんどの人が「ノー」だと思います。集中力を発揮して学習する方法はただひとつ。「時間を測って取り組む」ことです。「この宿題は20分、一問一答は〇〇ページを30分」など時間を決め、タイマーで測ります。これは入試の時間配分のトレーニングにもつながる有効な学習方法です。

塾で与えられた課題に「忘れたら叱られる」という低い意識で取り組むのと「この宿題の一つ一つが志望校合格に繋がっている」という高い意識で取り組むのでは、1年後の結果は違って当然です。

今年も新年度がスタートしました。先生達も頑張りますので一緒に頑張ってください。高木

学習のコツ

定期テストの学習法……その秘訣は？



いよいよ各学校でも新年度がスタートしました。新入生のみなさんは、これから新たに始まる学校生活に胸を躍らせているの

ではないでしょうか。

中学校では、5月に入るとすぐに中間テストがあります。今年の新中1から、公立高校入試の調査書に1年生の通知表の成績が反映されるようになります。つまり「1回目のテストから手を抜くことは許されない」という事です。入学早々少し気が重いかもかもしれませんが、正しい学習方法さえしっかり身につければ、必ず定期テストで点数が取れます。ここでは各教科の学習方法について、「カイチ流学習方法」冊子を元にアドバイスしていきます。

<国語>

定期テストの場合、ほとんどが暗記です。まずは学校のノートに書いた板書内容を教科書に写し、覚えるまで何度も読みます。最低5回は読みましょう。覚えたら、今度はその知識を使って問題を解きます。各学校の過去問から作られた単元別プリントを完璧に覚えるまで反復演習します。最後に塾のワークを演習します。

<数学>

とにかく演習量をこなし、パターンに慣れることが大事です。学校のワークもしくは塾のワークの基礎問題を解き、基本的な解き方をしっかりと覚えます。その後で応用問題を解きます。数学は解説を読んでも理解できない事が多いので、必ず先生に質問しましょう。

<英語>

まずは単語特訓プリントでテスト範囲の単語をしっかりと覚えます。単語を覚えないと文法ができて点数が取れないので、×3つになるまで繰り返し何度も覚えます。その後で単元の文法を復習し、教科書の本文の和訳をしながら内容を覚え、単元別プリントで実践演習します。×3つになるまで反復演習です。最後に学校ワークと塾ワークを演習します。

スケジュールシートの書き方

①志望校、目標点数を書き(1校目の履修)

スケジュールシートの一項目に得意科目、目標点数を記入しよう。「第一目標点数も記入しよう」「この科目は得意科目か」と記入を明確にしよう。得意科目がない場合は「なし」と記入しよう。

②得意科目や得意科目の得意科目を記入しよう

③のトータルスケジュールの記入

得意科目の得意科目の得意科目を記入しよう。得意科目の得意科目の得意科目を記入しよう。

④得意科目の得意科目の得意科目を記入しよう

⑤得意科目の得意科目の得意科目を記入しよう

9ウィークリースケジュール

①スケジュールシートを9週間分作成し、それぞれの科目に得意科目の得意科目を記入しよう。得意科目の得意科目の得意科目を記入しよう。

②得意科目の得意科目の得意科目を記入しよう

③得意科目の得意科目の得意科目を記入しよう

ポイント

①スケジュールシートは得意科目の得意科目の得意科目を記入しよう。

②スケジュールシートは得意科目の得意科目の得意科目を記入しよう。

③スケジュールシートは得意科目の得意科目の得意科目を記入しよう。

スケジュールシートで学習計画を管理しよう(「カイチ流学習方法」小冊子より)。

<理科>

塾ワークの解説部分で知識を復習した後、塾で配布するオリジナル問題集「一問一答」を使って演習します。一問一答には解説がほとんど載っていないので、特に計算問題などの不理解箇所は必ず先生に質問しましょう。×3つになるまで反復演習します。学校で配られる白プリントはテストに出る可能性大なので、必ず完璧になるまで覚えてください。

<社会>

教科書の大事なところに線を引ながら知識を復習します。大事なところがどこか分からない場合は、塾の授業で線を引いた塾ワークを参考にしましょう。復習できたら、一問一答の問題を解きます。やり方は理科と同じです。1ページ終わるごとに○付けをし、間違えた問題にチェックを入れて次のページに進みましょう。社会も白プリントが配られたら完璧に覚えます。

最後にひとつ、定期テストの成績を上げる「とっておきの方法」を皆さんにお伝えします。

それは「やり切る事」です。学習はあれもこれもやらない。1つのことを徹底的にやり切る。理科・社会なら一問一答集。1冊を一通りやって終わりでは

練習プリントの書き方

①練習プリントの書き方

②練習プリントの書き方

③練習プリントの書き方

④練習プリントの書き方

⑤練習プリントの書き方

⑥練習プリントの書き方

⑦練習プリントの書き方

⑧練習プリントの書き方

⑨練習プリントの書き方

⑩練習プリントの書き方

⑪練習プリントの書き方

⑫練習プリントの書き方

⑬練習プリントの書き方

⑭練習プリントの書き方

⑮練習プリントの書き方

⑯練習プリントの書き方

⑰練習プリントの書き方

⑱練習プリントの書き方

⑲練習プリントの書き方

⑳練習プリントの書き方

㉑練習プリントの書き方

㉒練習プリントの書き方

㉓練習プリントの書き方

㉔練習プリントの書き方

㉕練習プリントの書き方

㉖練習プリントの書き方

㉗練習プリントの書き方

㉘練習プリントの書き方

㉙練習プリントの書き方

㉚練習プリントの書き方

㉛練習プリントの書き方

㉜練習プリントの書き方

㉝練習プリントの書き方

㉞練習プリントの書き方

㉟練習プリントの書き方

㊱練習プリントの書き方

㊲練習プリントの書き方

㊳練習プリントの書き方

㊴練習プリントの書き方

㊵練習プリントの書き方

㊶練習プリントの書き方

㊷練習プリントの書き方

㊸練習プリントの書き方

㊹練習プリントの書き方

㊺練習プリントの書き方

㊻練習プリントの書き方

㊼練習プリントの書き方

㊽練習プリントの書き方

㊾練習プリントの書き方

㊿練習プリントの書き方

小冊子では、成績の良い先輩達の学習方法も紹介しています。

なく、もう一度やってみる。すると1回目では得られなかった気づきや疑問が出てきます。そうやって2回、3回目とやってみる。更に深い気づきと疑問が湧くはず。このようにやり切ることで、自分の知識を深く耕す。「答え」を暗記してしまうという人もいますが、脳にとっては同じ問題を何度も行うのが最も効率的な記憶方法なのです。

ここでご紹介した学習方法を「やり切る」。5月の中間テストの1年生平均は90点。他の学年は自己ベストを目指して頑張ります。 (熊谷<真>)

コラム

頑張ってます！
カイチの卒業生達

今月はたくさんの卒業生が顔を出してくれました。なぜ、今なのか？ピンと来られた方もいるかもしれませんが、大学入試の合格報告や4月から就職で大阪を離れるなどの報告のためです。カイチの卒業生は頑張っています。先生に報告に来た生徒達だけで、関西学院大学、奈良教育大学、同志社大学、関西大学、創価大学、大阪府立大学、京都外国語大学、京都大

学、神戸大学（順番は報告に来た生徒順）。みんな素晴らしい。すっかり素敵なお兄さんお姉さんです。また、就職が決まった生徒達も。彼らとはご飯を食べに行きました。それぞれNTTと阪急グループの広報部に就職が決まり、「春から社会人になるのが怖い！」と話していましたが、2人とも希望に燃えているのがよくわかりました。1人は「コネで……」と謙遜していましたが、そうではありません。上手に人に気が遣えるという長所を持っているのです。また、コンピューターの知識や技術に長けているという強み

もあります。人より少しでも秀でたものがある人には、周りは相談したり、時にはお願いしたりするものです。お願いを聞いてもらおうと、お返ししたくなるのが人情です。それは立派な実力です。みんなそれぞれに個性があり、その個性を伸ばしながら大人になっていくのだなと考えさせられました。（塾長 高木）



ツボタの今月のちょっとイイ話



今回のちょっとイイ話は、ちょっと興味深い本を紹介したいと思います。

本のタイトルは『こころのふしぎなぜ？ どうして？』。

もしかしたらご存じの方も多いかもかもしれませんね。心に関するいろいろな疑問にQ & A形式で答えていくものなのですが、例えば「おまじないって本当かなうの？」「なぜで学校を休むと、ちょっとワクワクするのはどうして？」「ロボットと友だちになれる日って、来るの？」など、ちょっと微笑ましいものもあれば、「かなしみは、いつきえるの？」「かみさまって、本当にいるの？」「ルールは、どうしてまもらなくちゃいけないの？」と、聞かれたら大人も答えにつまってしまうようなもの、さらに、「人は、どうして人をころすの？」「いじめられたらどうしたらいいの？」「どうして、お店のものをかかってにもって帰っちゃいけないの？」など、かなり深刻なものまで、全部で58の疑問に答えてい

ます。

子供でも読めるような言葉づかいで、イラストをふんだんに使っているのととても読みやすいです。ユーモラスなキャラクターもたくさん出てくるので読んでいてあきません。またお説教っぽくなく、かなり突っ込んだところまで答えているので、大人でも「なるほど」と思わせるような内容になっています。例えば『『せいぎのみかた』って、どこにいるの？』という疑問に対して、皆さんでしたらどう答えますか？この本での書き出しはこうです。「じつは、『せいぎ』というのは、考えていくととってもむずかしい問題なのです」。ここから2つの例を挙げて、「立場が変われば『正義』も『悪』に変わってしまう。誰もが認める正義の味方は、実はマンガやアニメの中だけにしかない」「世界で起っている戦争も実は『正義』対『正義』の戦いである」という、子供にはかなり説明しづらいことを分かりやすく書いています。

先ほど挙げた「どうして、お店のものをかかってにもって帰っちゃいけないの？」という疑問に対しても、「では、お店のものをかかってに持って帰ったと

します」という書き出しで始まり、ここから「お金の流れが止まってしまう」→「お店がつぶれる」→「たくさんの人が悲しむ」→「その悲しみは必ず自分に返ってくる」という流れで丁寧に説明し、「だからぜったいに持って帰ってはいけません」と、結論づけています。

この本は、好みが違う家族全員が読んでも、全員が「面白い！」と感じた、かなり珍しい本です。内容も「こころ」という、誰にとっても身近なことが題材ですので、ご家族全員で読んで感想をお互いに話してみると、いろいろな気づきが得られるのではないかと思います。続編も出ていて、これも面白いですよ。（坪田）



村山哲哉監修・高橋書店刊

カイチからのお知らせ

- 4月17日(金)より中学3年生のフリーラーニング第1タームがスタートします。
- 4月18日(土) 14時30分～16時で教育講演会を鶴見区民ホールで実施いたします。是非親子でご参加ください。
- 4月26日(日)は春の遠足です。バンドー神戸青少年科学館に行き、その後大縄とドッチボール大会をします。みんなで春の一日を楽しみましょう。